

外国語活動 活動報告

南魚沼郡市小学校教育研究会
英語活動部

『コミュニケーション能力を高めるための指導方法の工夫』

1 研究の基本方針

下記の教育課程特例校国際科授業研修会および南魚沼市学習指導センター研修講座を英語活動部共催とし、部員は積極的に研修会に参加する。

2 今年度の研修会・研修講座

(1) 教育課程特例校国際科授業研修会

- ① 上関小学校 7月12日(火)
- ② 五十沢小学校 10月25日(火)
- ③ 大崎小学校 11月21日(月)

(2) 南魚沼市学習指導センター研修講座

- ① 「外国語活動・国際科・英語 小中連携のあり方」 9月14日(水) 北辰小学校
- ② 国際理解教育(講師:宇土泰寛) 12月9日(金) 市役所本庁舎

3 英語活動部の成果と課題

南魚沼市は教育課程特例校の認定を受け、平成20年度に指定小学校5校で、平成21年度からは市内全小学校で「国際科」を全学年で実施している。南魚沼市教育委員会と市学習支援センターが国際科の授業にかかわる研修会や講座を数多く開催している。

南魚沼郡市小教研英語活動部は南魚沼市の取組を最大限に活用し、小学校教員の英語活動指導力の育成に努めている。これまでの研究から次のような成果と課題を得た。

研究の成果

- ・ALTとの共同授業において小学校教員がリーダーシップをとり授業を運営できるようになった。
- ・児童が互いのよさに気づき、認めることができるような英語活動が多くなった。
- ・単なるゲームではなく、ゲーム的要素をとり入れ、児童の意欲を高め内容のある英語活動が多くなった。

課題

- ・小学校教師がリーダーシップをとり授業を行うにはALTとの事前打合せと授業後の振り返りの時間が必要である。ALTは週に一回の訪問であるのでその時間の確保を工夫しなければならない。
- ・中学校の外国語の授業までを指導計画に盛り込むべきであり、そのためには中学校区での小小・小中連携を進めなければならない。
- ・今後さらに、各学校での優れた実践のノウハウや教材を学校間で共有するための仕組みを構築しなければならない。